

平成 29 年度サービス第三者評価（公益社団法人 全国有料老人ホーム協会）

法人名	株式会社センチュリーライフ		ホーム名	メディカルケア センチュリーハウス藤沢		ID	2918	
	評価機関	株式会社 ケアシステムズ				評価日	H30/1/23	
スケール No.	自己評価	機関評価	スケール No.	自己評価	機関評価	スケール No.	自己評価	機関評価
1.1.1	B	A	2.3.3	A	A	6.1.2	A	A
1.1.2	A	A	2.3.4	A	A	6.1.3	A	A
1.1.3	A	A	2.3.5	A	A	6.2.1	A	A
1.1.4	A	A	2.3.6	A	A	6.2.2	A	A
1.2.1	A	A	2.3.7	B	A	6.2.3	A	A
1.2.2	A	A	2.3.8	非該当	非該当	6.2.4	A	A
1.2.3	A	A	2.3.9	A	A	6.2.5	A	A
1.3.1	A	A	2.3.10	A	A	6.2.6	A	A
1.3.2	A	A	2.3.11	A	A	6.2.7	A	A
1.3.3	A	A	2.4.1	A	A	6.2.8	A	A
1.4.1	B	B	2.4.2	A	A	6.2.9	B	B
1.4.2	A	A	2.4.3	A	A	6.3.1	A	A
1.4.3	A	A	2.4.4	A	A	6.3.2	A	B
1.4.4	A	A	2.4.5	A	A	6.3.3	C	A
1.4.5	B	A	2.4.6	A	A	7.1.1	A	A
1.4.6	B	A	3.1.1	A	A	7.1.2	A	A
1.4.7	A	A	3.1.2	A	A	7.2.1	A	A
1.4.8	A	A	3.1.3	B	B	7.3.1	A	A
1.5.1	A	A	3.1.4	A	A	7.3.2	A	A
1.5.2	A	A	3.1.5	A	A	7.3.3	A	A
1.5.3	A	A	3.1.6	A	A	7.3.4	A	A
2.1.1	A	A	3.1.7	A	A	7.4.1	A	A
2.1.2	A	B	4.1.1	A	A	7.4.2	A	A
2.2.1	A	A	4.1.2	A	A	7.4.3	A	A
2.2.2	A	A	4.1.3	A	A	7.4.4	B	B
2.2.3	A	A	4.1.4	A	A	7.4.5	A	A
2.2.4	A	A	4.2.1	A	A	7.5.1	A	A
2.2.5	A	A	4.2.2	A	B	7.5.2	A	A
2.2.6	非該当	非該当	5.1.1	A	A	7.5.3	A	A
2.2.7	A	A	5.1.2	A	A	7.5.4	A	A
2.2.8	A	A	5.2.1	A	A	7.5.5	A	A
2.2.9	A	A	5.2.2	A	A	7.5.6	B	B
2.2.10	A	A	5.2.3	A	A	7.5.7	A	A
2.2.11	A	A	5.2.4	A	A	7.6.1	A	A
2.3.1	A	非該当	5.2.5	A	A	7.6.2	A	A
2.3.2	A	A	6.1.1	A	A	7.6.3	A	A

評価機関所見

◆優れた取り組みと思われる点	
スケルNo.	所 見
1-4-6	マネジメント研修、リーダー研修、プレリーダー研修などの中間層に対する研修体制の整備がなされており、さらに等のリーダークラスの業務量をシステマティックに本部でも把握し、業務量が過多になっていると判断した時は業務分担などをして中間管理層の業務量コントロールを行なっている。また、中間層からも役割の範囲を業務については上長への共有が図られている。
2-1-1	理念の周知を図るハウス独自の取り組みとして、名札サイズのカードに理念を記したものを職員に持たせている。また、毎朝礼時には、基本理念と行動指針、夕礼時には基本理念とハウス目標を全職員で唱和し周知を図っている。何かあった時に理念に戻って考え方を整理したり、必要に応じて理念を現場の中で説明し職員への理解につなげている。
2-4-2	決められた見直し時期の他、都度運営ミーティングが運営中枢となっているので、現場との要望とのすり合わせを行い、法人とはエリア会議で擦り合わせをして業務手順の更新を行っている。
2-4-3	事故防止・対応マニュアル、また運営ミーティングでヒヤリハット、事故報告、苦情相談委員会から、対象者、内容的、日時、対応策、評価を記載して職員に周知して再発、事故防止に取り組んでいる。また、ヒヤリハット、事故報告はペナルティではありませんという姿勢を文書で示して隠蔽を防いでいる。
5-1-1	朝食では、和食、洋食のいずれかを選ぶ選択メニューを実施している。また、日常の食事以外に、セレクト食やご当地メニュー、行事食を献立に組み入り居者に好評を得ている。
5-2-5	日常的な歯磨きや義歯の手入れのほか、訪問歯科との契約により口腔ケアの指導や歯科衛生士による口腔管理や口腔指導を受けている。口腔ケアの取り組みにより、誤嚥性肺炎の予防や口腔機能の低下を防ぎQOL向上へと取り組まれている。

◆さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点	
スケルNo.	所 見
2-1-2	長谷工シニアホールディングス、神奈川静岡エリアでの年間計画はあるが、介護と生活について事業部門毎は月次に部門ごとの目標を定めているが、年間の事業計画はない。直近の課題には柔軟に対応できているが、見通しを持った課題への対応の観点からも部門毎に年間目標を定めて各部署が計画され目標に向かって業務を進めていくことが望ましい。
1-4-1	職員の育成にあたり、職責に応じたカリキュラムを組み進めたが、個々のキャリアプランの意向を汲んで、研修などのサポート体制がスタートし、当初のカリキュラムからの乖離が見受けられる。それぞれ有益な取り組みであるので、双方の整合性を図ることを進めることが望まれる。その人を人事部が育てるということを共有され、ハウス長が指導しさらにサポートする体制を作っていきたいとしている。
6-3-2	職員間での認知症内部研修は行われているが、認知症専門医との事例検討などで研修は実施されていないとの報告があり、重度化への予防なども含めて認知症への知識と理解に向けた啓発的な研修への取り組みに期待する。
4-2-2	イベントとしての計画はおおよその範囲で実施されている。毎朝ラジオ体操が定着して実施されている。日々のアクティビティに関しては計画書も作成されていない状況で入居者の様子見から、その日のメニューを考えて実施していることから、生活リハビリなど取り入れながら計画的に実施されることが望まれる。